

# 2025(令和7)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

## 【選択科目：地理探究】

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

# 2025(令和7)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

## 【地理探究】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

### I エネルギーと資源に関する文章を読んで以下の問いに答えなさい。

私たちの暮らしを支えるエネルギー資源は、非枯渇性の ① 資源と枯渇性エネルギー資源にわけられる。① 資源には、太陽光や水力、風力などがある。一方、枯渇性エネルギー資源には、石炭や石油、天然ガスなどの ② がある。これらの資源は、大量のエネルギーを取り出すことができるが、大気汚染物質を排出するなど環境負荷が大きく、一度利用されると再生されない有限な資源である。しかし、天然ガスは、石炭や石油に比べて熱量が高く、地球温暖化の原因物質の ③ や有害物質の排出量が少ないため、④ として注目されている。2000年代には、技術革新により新たに資源化が可能となった非在来型<sup>a</sup>の資源の採掘が可能となり、とくにアメリカで生産が急増し、世界のエネルギー事情が大転換する ⑤ が起きた。

一方、代表的な原料資源である鉄や非鉄金属、金、銀、銅などの ⑥ 資源も需要が高まっている。工業の基礎的な素材である鉄鋼の原料である ⑦ は、安定陸塊の楕状地を中心に地球上に広く分布しており、オーストラリア、ブラジル、中国、インドが世界の産出量の約4分の3を占めている。非鉄鉱物も、工業製品の生産に不可欠であり、アルミニウムの原料である ⑧ は、オーストラリア、中国、ブラジルが世界の産出量の約6割を占めている。また、産業に利用される金属のうち、埋蔵量が少ない金属や製錬が困難な金属である ⑨ も重要性を増している。⑨ には、タングステン、コバルト、ニッケル、⑩ などがあり、半導体などのハイテク産業には欠かせないものである。近年では、⑨ を含む金属資源が使用されている電子部品のリサイクルにも取り組まれており、⑪ という言葉が注目されている。

世界のエネルギーの消費には著しい地域差がある。こうした地域差は、エネルギー生産の地域的な偏りとあいまって、国による地球温暖化に対する姿勢の違いや、資源ナショナリズム<sup>b</sup>、海底資源をめぐる領土問題などが複雑にからみあい、国際対立の一因となっている。一人あたりの一次エネルギー<sup>c</sup>の消費量は、先進国で多く、特に、アメリカやカナダで目立って多くなっている。発展途上国では少ない傾向にあるが、中東の産油国では比較的多い。また、人口が多い中国やインドでは、一人あたりのエネルギー消費量は比較的少ないものの、急速な経済発展にともない、国全体の消費量は大きくのびている。このことは、エネルギー価格の高騰をもたらすとともに、⑫ をまねく危険性を増大させており、エネルギー安全保障<sup>d</sup>が大きな課題のひとつとなっている。

問1 ① ～ ⑫ にあてはまる語句を、下記の【語群】から選択して記号で答えなさい。  
(各1点)

【語群】

- |                |              |               |
|----------------|--------------|---------------|
| ア. 化石燃料        | イ. 都市鉱山      | ウ. レアアース(希土類) |
| エ. クリーンエネルギー   | オ. 資源の枯渇     | カ. 金属         |
| キ. 二酸化炭素       | ク. 鉄鉱石       | ケ. シェール革命     |
| コ. レアメタル(希少金属) | サ. 再生可能エネルギー | シ. ボーキサイト     |

問2 下線 a の非在来型の資源にはどのようなものがあるか名称をひとつ答えなさい。(2点)

問3 下線 b の資源ナショナリズムとは何か答えなさい。(4点)

問4 下線 c の一次エネルギーとは何か答えなさい。(4点)

問5 下線 d のエネルギー安全保障とは何か答えなさい。(4点)

問6 図1は天然ガスの生産・消費と貿易のグラフである。①～③の国名を答えなさい。  
(各2点)

**著作権承諾上の理由により、図表の掲載は控え  
させていただきます。**

**問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入試  
センターまでお問い合わせください。**

図1 天然ガスの生産・消費と貿易(統計年次は2018年、世界国勢図会より)

## Ⅱ 現代世界の諸課題に関する文章を読んで下記の問いに答えなさい。

世界の人口は1950年以降、急激に増加したが、それはアジア・アフリカ・①の発展途上国において、死亡率の低下などに伴って、②と呼ばれる急激な人口増加が発生したためである。この人口増が続けば現在の生活水準を維持できず、栄養不足や貧困が増加することになる。人口増加が著しい発展途上国では、子供が家計を支える労働力であり、③が高いため、子供を産もうとすることから、合計特殊出生率が高い。一方、④の改善、医療の普及、寄生虫の駆除などによって、⑤が高まり、⑥が低下した地域では人口が著しく増加した。発展途上国の多くでは家族計画を奨励し、中国の一人っ子政策<sup>a</sup>では出生率が大幅に低下した。

一方、ヨーロッパ諸国や日本などの先進国では少子高齢化が進展した。少子化は⑦や非婚化、子供をもたない夫婦や子供が1人の家庭の増加などが背景にある。デンマークでは少子高齢化の対策<sup>b</sup>として、出産や育児を支援する社会環境の整備があり、産後休業および⑧が保証され、保育施設も充実している。日本では1970年代後半以降、合計特殊出生率<sup>c</sup>が低下し、日本の人口が減少することが予想されている。

世界的には食料の需要と供給に地域的差がある。この要因には食料生産力の差がある。アジアには緑の革命のように食料を増産することに成功した国もある。しかし、発展途上国の中には農業生産力が弱く、食料自給率が低い国も多い。発展途上国では急激な人口増加による食料不足、自然災害や⑨による食料生産量の低下がみられる。また、外貨を稼ぐため⑩の栽培を重視したため、自国の食料増産に力を入れず、不足する食料を⑪で補っている。近年では発展途上国で作られた農作物や製品を適正な価格で取り引きする⑫の運動が進められている。

先進国では消費されず残った食料が大量に廃棄されるという食品ロス<sup>d</sup>と呼ばれる問題があり、さまざまな対策が行われている。また、日本では食料自給率<sup>e</sup>が低下し、世界有数の食料輸入国となっている。近年では食育や⑬の促進など、さまざまな取り組みが行われている。

問1 ① ～ ⑬ にあてはまる語句を、下記の【語群】から選択して記号で答えなさい。  
(各1点)

### 【語群】

- |            |            |         |          |
|------------|------------|---------|----------|
| ア. 育児休業    | イ. 衛生状態    | ウ. 商品作物 | エ. 人口爆発  |
| オ. 内戦      | カ. 出生率     | キ. 死亡率  | ク. 乳児死亡率 |
| ケ. 晩婚化     | コ. フェアトレード | サ. 地産地消 | シ. 輸入    |
| ス. ラテンアメリカ |            |         |          |

問2 下線aについて、その政策の特徴とその結果に伴う政策転換の内容を答えなさい。(6点)

問3 下線 b に関連して、社会保障や社会福祉の制度が整備されたデンマークの福祉国家のしくみの特徴を答えなさい。(5 点)

問4 下線 c に関連して、次の図 2 は、主な国における合計特殊出生率の推移を示したものである。図 2 の①～④にあてはまる国名を、下記の【語群】から選択して、記号で答えなさい。(各 1 点)

【語群】

ア. アメリカ合衆国

イ. 韓国

ウ. 日本

エ. フランス

**著作権承諾上の理由により、図表の掲載は控え  
させていただきます。**

**問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入試  
センターまでお問い合わせください。**

図 2 主な国における合計特殊出生率の推移 (国立社会保障・人口問題研究所の資料により作成)

問5 下線 d について、その対応策を答えなさい。(3 点)

問6 下線 e に関連して、次の表 1 は、主な国の穀物自給率と穀物輸出入、穀物用途を示している。表 1 の①～④にあてはまる国名を、下記の【語群】から選択して、記号で答えなさい。(各 1 点)

【語群】

ア. インド

イ. オーストラリア

ウ. 日本

エ. フランス

表 1 主な国における穀物自給率・穀物輸出入・穀物用途の特徴

**著作権承諾上の理由により、図表の掲載は控え  
させていただきます。**

**問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入試  
センターまでお問い合わせください。**

統計年次は 2018 年。

(世界国勢図会の資料により作成)

Ⅲ 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

オーストラリアは日本の約 ① の面積の国土に対して人口は約 ② 人、ニュージーランドは日本の 7 割の国土に対して人口は ③ 人ほどの国である。両国とも国内の市場規模が小さいため、製造業は国内需要向けが中心で、④ や ⑤ など工業製品の大半を輸入に頼っている。一方、広い国土を生かした農業は盛んであり、肉類や乳製品は主要な輸出品となっている。南半球という地理的特性を生かし、また北半球の国々の<sup>は ぞかい</sup>端境期<sub>a</sub>をねらった果物や野菜の生産も盛んである。

オーストラリアの農業は、大陸東部や西部の大都市が発達している地域では、酪農や野菜・果物生産などの近郊農業が盛んに行われている。羊の放牧は、都市近郊から内陸部の乾燥地域までの広い範囲でみられる。内陸部では羊の飼育は主にグレートディヴァイディング山脈からの被圧地下水を利用した掘り抜き井戸活用による A 盆地が盛んである。マリーダーリング盆地や西海岸では小麦栽培と羊飼育が組み合わされている。かつては ⑥ 種を中心とする毛取り用の羊が大半であったが、<sup>b</sup>最近では羊毛需要が低迷するにつれ、⑦ 種などの毛肉兼用種<sup>c</sup>の羊の割合も増加している。牛の放牧は、内陸部の半乾燥地域も含めた国土の広い範囲で行われている。東部では ⑧ で肉牛が肥育され、B の名称で日本などに輸出されているほか、日本の和牛の血統を受け継ぐ一部の高級肉は ⑨ として東南アジアや欧米の富裕層向けに出荷されている。ニュージーランドは国土の全域が ⑩ 気候であり、温暖で牧草がよく育つため、酪農や肉用の羊の飼育が盛んである。

**著作権承諾上の理由により、図表の掲載は控えさせていただきます。**  
**問題文閲覧をご希望の方は、沖縄国際大学入試センターまでお問い合わせください。**

図3 オーストラリアの農業区分と年降水量（図解・表解世界の地理より）

問1 文中の ① ～ ⑩ に入る適切な語句を下の語群から選び記号で答えなさい。  
(各1点)

【語群】

- |            |             |          |           |
|------------|-------------|----------|-----------|
| ア. 10 倍    | イ. 20 倍     | ウ. 500 万 | エ. 1000 万 |
| オ. 2000 万  | カ. 3000 万   | キ. コリデール | ク. メリノ    |
| ケ. WAGYU   | コ. 機械       | サ. 船舶    | シ. 自動車    |
| ス. フィードロット | セ. BRANDGYU | ソ. 西岸海洋性 | タ. 温暖湿潤   |

問2 図3をみて a～e に入る農業地域を下の語群から選び番号で答えなさい。(各1点)

【語群】

- |          |         |            |          |
|----------|---------|------------|----------|
| 1. 牛飼育地域 | 2. 小麦地域 | 3. サトウキビ地域 | 4. 羊飼育地域 |
| 5. 酪農地域  |         |            |          |

問3 オーストラリアの農業は多様な農業生産地域が展開しているが、図3をみて年間降水量と農業地域の関係について説明しなさい。(6点)

問4 A と B に入る適切な語句を記入しなさい。(各2点)

問5 下線 a の端境期をねらった野菜を1つあげなさい。(2点)

問6 下線 b で示した小麦栽培と羊の飼育の両方を経営する農業を何農業というか記しなさい。(2点)

問7 下線 c で示した最近、羊毛需要が低迷している理由について述べなさい。(4点)

